

# ひであきレポート

## 自然体験学習は安全第一で

### 無責任な体制が 中一少女の命を奪った！



●訓練は強行された、そして、悲劇が起きた

6月18日(水)、「浜名湖で豊橋市立章南中学校の一年生18人と指導の教師2人が乗ったボートが転覆し、一人の女子生徒が亡くなる」というやりきれない事件が起きました。

問題の18日、午後からは浜名湖一帯は強風と横殴りの雨が激しくなり、浜松地方は強風・大雨・波浪・洪水・雷注意報が発令されていましたが、訓練は実施されました。

14時35分、ボート4艇で出航後もなく、生徒の船酔いがひどく自力でオールを漕げない状況となり、連絡を受けた「青年の家」の所長らが別の船で救助に向かいました。

そして、生徒を乗せたまま1台のボートを岸へ牽引していた途中、ボートが転覆、悲劇は起きました。

転覆してから約3時間後、ボートの中から一人の女子生徒が心肺停止状態で見つかり、病院に転送されましたが午後6時47分死亡が確認されました。

●問題点は次々と明るみに、あいまいさが重大事故に。

7月27日(火)「章南中ボート事故について」市議会福祉教育委員会が開かれた。

訓練を担当した三ケ日青年の家側の気象状況の判断と生徒を預けた学校側の安全チェックなどの甘さが、あらためて浮き彫りになりました。

「生徒の命を何と知っている！この事故は防ぐ事が出来たはず、これは人災である」というのが委員会を傍聴していた私の率直な思いです。

今後、警察の捜査の進展で責任の所在が明らかになると思われます。

今後の再発防止策について、教育長は「教委だけでなく海山川の専門家などに加わってもらい、『水難事故マニュアル』というような各ケースに応じた具体的なものを作りたい」と説明。

堀内副市長も、市が行う全てのイベントの危機管理体制や、公共施設の安全対策についても、見直すことを表明しています。

●感動体験は無事故でこそ、子どもの安全第一の体制を！

豊橋市では「自然体験学習」が、20年前から実施され、今では市内全22中学校で自然に親しむ事を目的に、「三ケ日青年の家」や、野外教育センター、時には長野県高遠などで行い、キャンプやカヌー、山林でのウォーキングなどが実施されています。

伊藤ひであきも「豊橋の新しい時代を担う青少年たちを、大自然に触れさせていく。あるいは、青少年の活発な交流というのはこれから非常に大事である」と推進に取り組んできました。それだけに今回の悲劇は残念の極みです。

無事故であってこそその感動体験であり、「子どもの安全第一の自然体験学習を」と強く要望するものです。

また、この事故を風化させないよう、6月18日を「豊橋命の日」にすることも検討されています。

(写真は懸命な救助活動 asahi.comから)

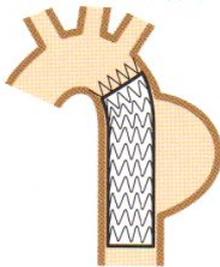


# 入院して手術するといくらかかるか あいがたい、高額療養費制度

**私**、伊藤ひであきは昨年12月20日に血圧が250近くまで上がり、約1ヵ月間、豊橋市民病院に入院していました。病名は「細菌性胸部大動脈りゅう」。退院後も治療を続け、やっと2月末に菌がなくなりました。

次は、「心臓近くに6.3cmまで膨らんだ大動脈りゅうをどうするか」でした。医学的には6cmを超えると破裂の危険があり、当時、俳優の藤田まことさんや小説家の立松和平さんが「大動脈りゅうの破裂」で亡くなれるというニュースもありましたので、予断を許さない状況でした。

3月議会を終えて、長久手の愛知医科大学病院に4月16日に入院し、19日に「ステントグラフト挿入手術」(右の図)を受け、5月3日に無事退院しました。多くの皆様にご心配をおかけしましたが、「ひであきレポート」をお届けできるまでに元気になりました。



**愛**知医科大学病院で入院手術した4月分の費用は以下のように医療点数で

506,241点、よって506万2410円かかったこととなります。従来ですと3割負担ですから、自己負担分を窓口で一旦払う必要がありますので150万円余の支払いが必要でした。しかし「限度額適用認定証」で手続きしておりましたので、一部負担金は12万8054円で済み、それに食費7,540円を加えた13万5594円の支払いで済みました。大変に助かりました。

**入**院時の医療費が高額になった場合の支払い方法が2007年4月から見直され、70歳未満の方が窓口で支払う医療費は、それまでの立て替え払いが廃止され、高額療養費制度における自己負担限度額のみで済むようになったからです。これは公明党が果たした実績です。

ついでながら、70歳以上の高額療養費の支払いについてもまとめました。高額療養費は月の1日から末日までごとに計算します。また入院時の食事代やベット代は対象外です。

公明党は、通院時の高額療養費や、介護費用との合算制度などの負担軽減にも取り組んでいます。

## ●伊藤ひであきのステントグラフト挿入手術など4月分の医療費

包括評価料 (DPC) 51,122点	入院料等 270点	小計 506,241点
手術 438,598点	画像診断 70点	5,065,410円
一部負担金 128,054円 + 食事標準負担額 7,540円 = 支払金額 135,594円		

## ●70歳未満の高額療養費 (限度額適用認定証を事前に提出)

上位所得者	150,000 + (総医療費 - 500,000) × 0.01	私と同じ入院手術だと	195,624円
一般	80,100 + (総医療費 - 267,000) × 0.01	同上	128,054円
住民税非課税	35,400円		

## ●70歳以上の高額療養費 (限度額適用認定証を事前に提出)

現役並み所得者	80,100 + (総医療費 - 267,000) × 0.01	私と同じ入院手術だと	128,054円
一般 35,400円	住民税非課税Ⅱ 24,600円	住民税非課税Ⅰ 15,000円	いずれも最高負担額

「ひであきレポート」をインターネットで!、携帯電話で!



<http://www.itouhideaki.com>

**ひであきレポート**  
豊橋市議会議員伊藤秀昭の中へ、人間の中へ、ほんまも。

- ドブック
- 東奔西走
- プロフィール

Office 伊藤秀昭事務所  
Tel:090-3834-5411  
ご意見はE-Mailで  
[hide@aplco.jp](mailto:hide@aplco.jp)



**暑中お見舞い  
申し上げます。**  
お身体、ご自愛ください  
市民相談は(53) 3483  
伊藤ひであきへ